

市長コラム

夢かなうまち
おびひろ

命

帯広市長 米沢 則寿



2011年3月11日、東北地方を中心とした甚大な被害をもたらした東日本大震災が発生してから、まもなく10年という月日が経とうとしています。

今なお収束の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症も多くの命が犠牲となっていますが、「死」に対する私たちの受け止めは、これまでと全く異なるように感じます。これほどまで日本中、世界中に広がり、一年を超えて毎日のように伝えられる膨大な「死」というものを、正直受け止めきれないというのが現実ではないでしょうか。

ウイルスに感染し、家族に看取られることなく亡くなり、骨壺に入って帰ってくる。災害などの危機が訪れるたび、命の有限性や人間の尊厳について考えさせられました。このウイルスは最期を看取ることや、親しい人と悲しみを

分かち合うことさえ不可能にするなど、これまで想像もしていなかった「死」のありようを見せつけました。改めて「人生とは、命とは何か」を強く問いかけられているように思います。

以前、企業にとって大切な三つの「人」について教えていただきました。一つ目は企業に投資してくれる人、二つ目は企業の製品やサービスを消費してくれる人、そして三つ目は企業のために専門的な能力を発揮、もたらしてくれる人です。経営陣と従業員は、これらの人が居心地よく、関心を持ってくれるよう尽力すべし。この視点は、まちづくりにも共通するものだと思います。この地域の資源に注目し投資をしてくれる人、ここで活動しサービスを利用する人、経験や知識を活かしてここで新しい価値を創出する人。これらの人々と市民がそれぞれの役割を果たすことで社会に好循環が生まれ、将来も活気ある地域でいられるのだと考えます。

社会の風潮として「今だけ、金だけ、自分だけ」という言葉を耳にしますが、目先のことや自分だけを守るうとする生き方は、思考の停止や孤立を招き、未来の可能性を狭めてしまいかねません。「〇〇だけ主義」の発想ではなくソーシャルディスタンスを取りながらも心は近くして、みんなで魅力あるまちづくりを進める必要があると思います。

「自分が日陰を利用できないとわかっていながら老人が木を植える」と社会は偉大になる。ギリシャのことわざです。夢や希望を持ち、将来世代の利益に資するポジティブなまちをつくるため、命をつないでいきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた
個人事業主の皆さまへ
支援制度の申請期限が迫っています

申請方法や該当条件は、市ホームページをご覧ください。くか各問い合わせ先にご確認ください。

※2月12日時点での情報であり、申請期限が延長される場合があります。

3月31日(水)が申請期限の支援制度

○民間金融機関による実質無利子無担保融資
民間金融機関が北海道による制度融資を活用しての実質無利子・無担保融資。
※取り扱い金融機関から信用保証協会への保証申込期限が「令和3年3月31日まで」のため、3月末までに保証申し込みの完了が必要です。
市ホームページID.1007554

○雇用調整助成金等利用促進支援金
雇用調整助成金（緊急雇用安定助成金を含む）の申請を社会保険労務士に依頼した際に必要な手数料の一部補助。
市ホームページID.1005906

問い合わせ 商業労働課（市庁舎7階、☎65・4164）

○国民健康保険料および後期高齢者医療保険料、介護保険料の減免
減免対象となる場合があるため、条件などを確認してください。

国民健康保険料 ▶ 市ホームページID.1003143

後期高齢者医療保険料 ▶ 市ホームページID.1002204

介護保険料 ▶ 市ホームページID.1003149

問い合わせ 国保課（市庁舎1階、☎65・4140）、介護高齢福祉課（市庁舎1階、☎65・4150）

その他の支援制度 ▶ 市ホームページID.1008100

認知症に関する情報をお届けします!

ロバ隊長便り

問い合わせ 地域福祉課（市庁舎3階、☎65・4113）

こんにちは!
僕「ロバ隊長」です。
認知症サポーターキャラバンのマスコット。
認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの先頭を歩きます。



今月のテーマ 『人とつながり楽しく認知症予防!』

認知症は、認知機能が低下しさまざまな生活上の支障が出る状態のことで、誰もがなり得るものです。
普段の生活の中で、楽しく人と過ごしたり脳トレや体を動かしたりすることは、脳へのよい刺激となり認知機能を保つことにつながります。



介護予防の取り組みとして開催している「げんき活動コースチャレンジデー」に行ってみよう!



パラト福祉センターでの様子

頭と体を同時に使うことはちょっと難しいかもしれませんが、笑い合いながらやるのが脳への刺激になります。
誘い合って、ぜひ参加してみましょう!



スタッフ高橋さん



広陽福祉センターでの様子

慣れないことや新しいことにチャレンジすることがポイントです。
うまくできなくても大丈夫!皆さんに楽しみながら取り組んでもらえるよう工夫しています。



スタッフ沼口さん



感染症対策を取りながら行っていただよう!安心して参加できるように一人一人が意識することも大切だね。



げんき活動コースチャレンジデーは市内のコミセンや福祉センターで開催しています。これから何か始めたい、ちょっと体験してみたいという人にぴったりです。
興味のある人は、ぜひ地域福祉課に問い合わせください。(3月の日程・申し込み先などは7頁をご覧ください。)

市政のお知らせを放送しています

◆テレビ 市役所だより(OCTV11ch) 毎日4回放送していて、市ホームページからもご覧になれます。

◆ラジオ(毎週月・水・金曜日) おびひろタウンインフォメーション (FM-JAGA77.8MHz) 9:15~9:20 おびひろ広報メモ (FM-WING76.1MHz) 9:30~9:35

広報おびひろの感想を聞かせてください

最後まで読んでいただきありがとうございます。よりよい広報紙にするために「こうした方が読みやすい」など皆さんの感想をお聞かせください。

問い合わせ 広報広聴課（市庁舎3階、☎65・4109、FAX 23・0156、Eメール report@city.obihiro.hokkaido.jp）